

芽吹くノハナショウブ！！

「齋宮のハナショウブ群落」のノハナショウブが芽を出し始めました。先日除草作業をしたところ、青々とした芽が成長しているのを確認しました。これから開花シーズンに向け、給水や除草作業を行います。ノハナショウブは現在流通している花菖蒲の原種で、5月下旬から6月中旬にかけて紫色の美しい花が咲き誇ります。

美しく優雅な花が咲くのを楽しみにして、ノハナショウブの成長を見守ってください！



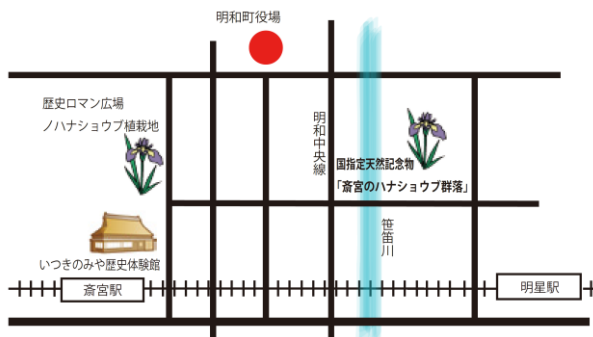
(令和3年3月29日撮影)

齋宮のハナショウブ群落(国指定天然記念物)

明和町齋宮にあるノハナショウブの群生地。平地に群生するのは珍しく、昭和11年(1936)12月16日に国の天然記念物に指定されました。当地では古くからノハナショウブが繁茂しており、その様子が江戸時代や明治時代の文献に記されています。お伊勢参りの旅人も多くこの地を訪れ美しい花を楽しんだそうです。ノハナショウブ以外にも、ノカンゾウやナガボノワレモコウ等貴重な植物が群生しています。

かつて「紫の雲がたなびくよう」とまで言われた群落ですが、年々株数が減少しており、株の保存、継承が課題になっています。

(住所：三重県多気郡明和町大字齋宮1817)



どんど花通信

齋宮跡文化観光課が発行する「さいくうあと通信」の派生紙。齋宮のハナショウブ群落を中心に定期的に町花であるノハナショウブの情報を発信します。